

日米の食文化

広島大学附属東雲小学校	富村	誠
広島大学附属高等学校	田中	泉
岡山県立朝日高等学校	鷹家	秀史

教材 A

「大豆の大ちゃんまめ旅行」

広島大学附属東雲小学校	富村	誠
-------------	----	---

教材 B

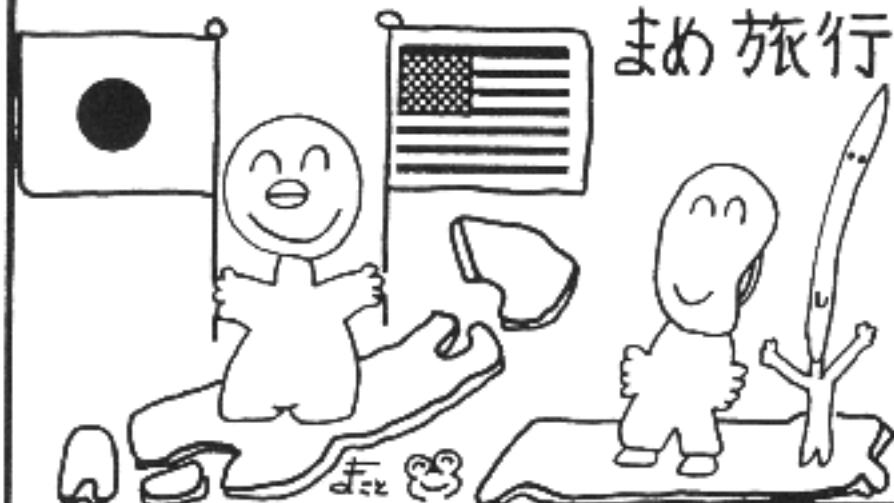
「市場の中の外国～食の異文化理解～」

岡山県立朝日高等学校	鷹家	秀史
------------	----	----

大豆の大ちゃん

まめ旅行

4



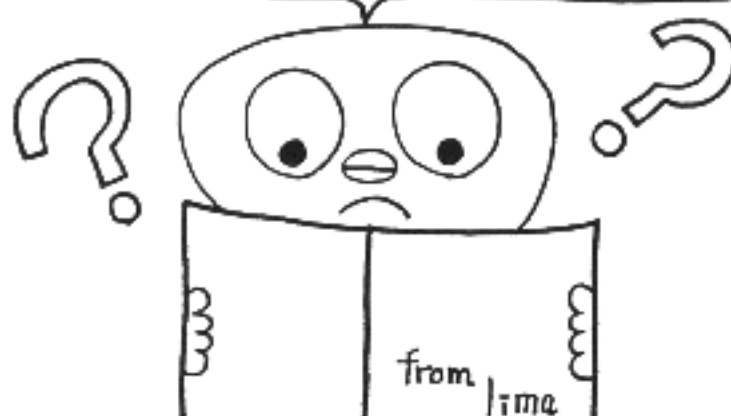
だれかなあ？

ゆうびん
ですよ。大ちゃん。
外国からの
ゆうびん
ですよ。



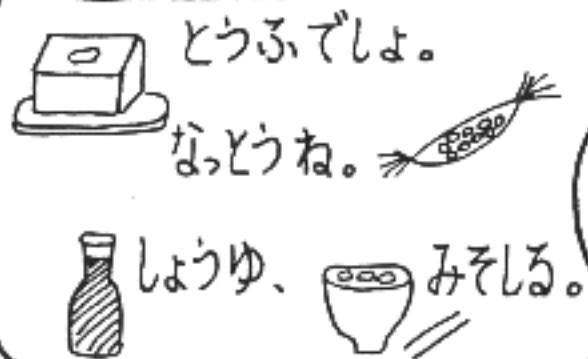
はじめまして！
ぼくは 大豆の大
ちゃん。ぼくの住ん
でいる日本では、ぼ
くって人気者なんだ
よ。

ふーむ。なになに。あなたの
友だち ライマ豆より だって？



5

どうして 人気があるのかって？
それはね……



とうふでしょ。
なとうね。
しょうゆ、みそしる。



6



日米 まめがいぎを
するから アメリカに
しょうたいしますだって！
やったあ！ アメリカ
がっしょうこく
合衆国に旅行でき
るぞお！



3



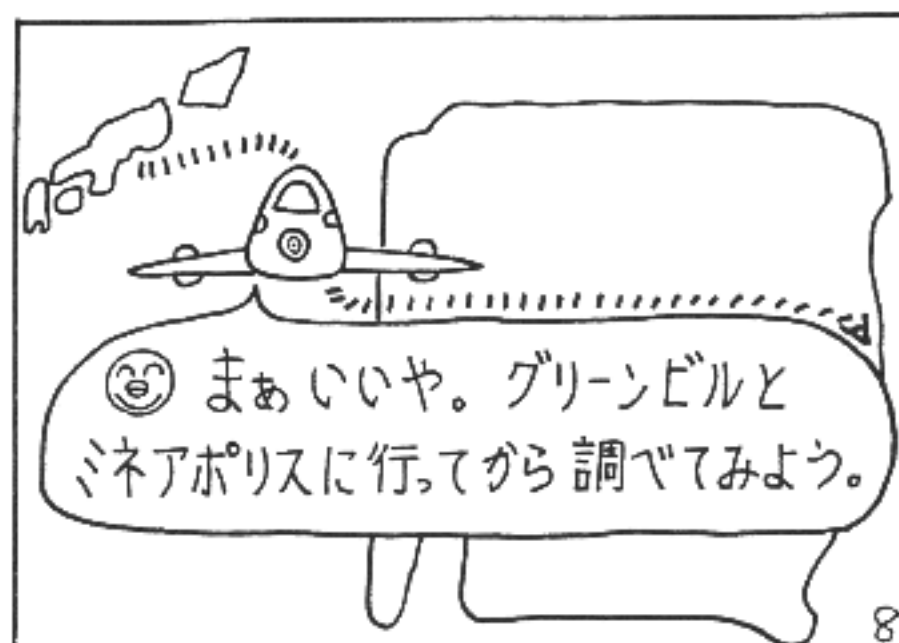
みんな ぼくから 作られて
いるものなんだよ。
日本らしい食べ物
は ぼく大ちゃんが へん
しんしているんだよ。
すごいだろう？

7

でも ライマってどんな子なのかな。



アメリカの人って パンやお肉を食
っているけれど、豆を食べるのかなあ？



8



12



9



なにかなあ。

13



10



14



11



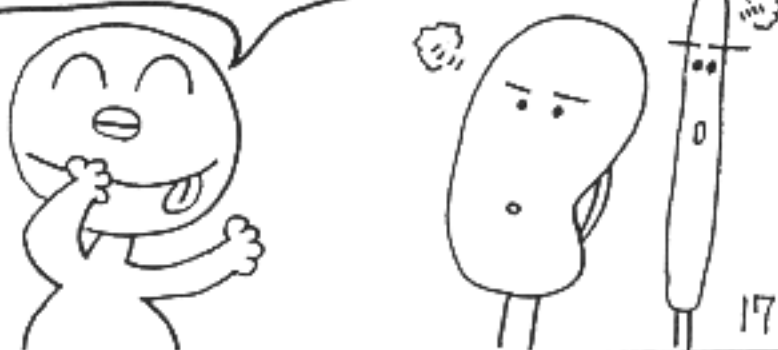
15

ねっ。おいしそうでしょう？



しりょう1を見てライマ豆をさがそうね。

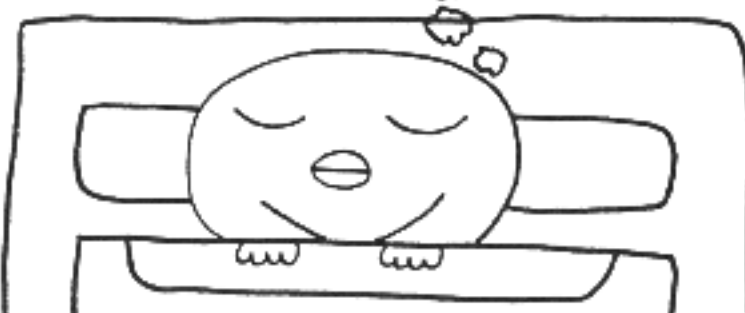
なるほど。ライマ豆っておいしかったなあ。
でもね グリーンビルに住んでいる人たちは
ライマ豆だけを食べているのでしょうか？



そのようなことはありませんよ 大ちゃん。
明日 グリーンビルの豆さがしに
ご案内いたしましょう。



どんな豆と会えるのかなあ。
楽しみだなあ。



次の日の朝。

大ちゃんたちは
やさいの朝市にでかけました。

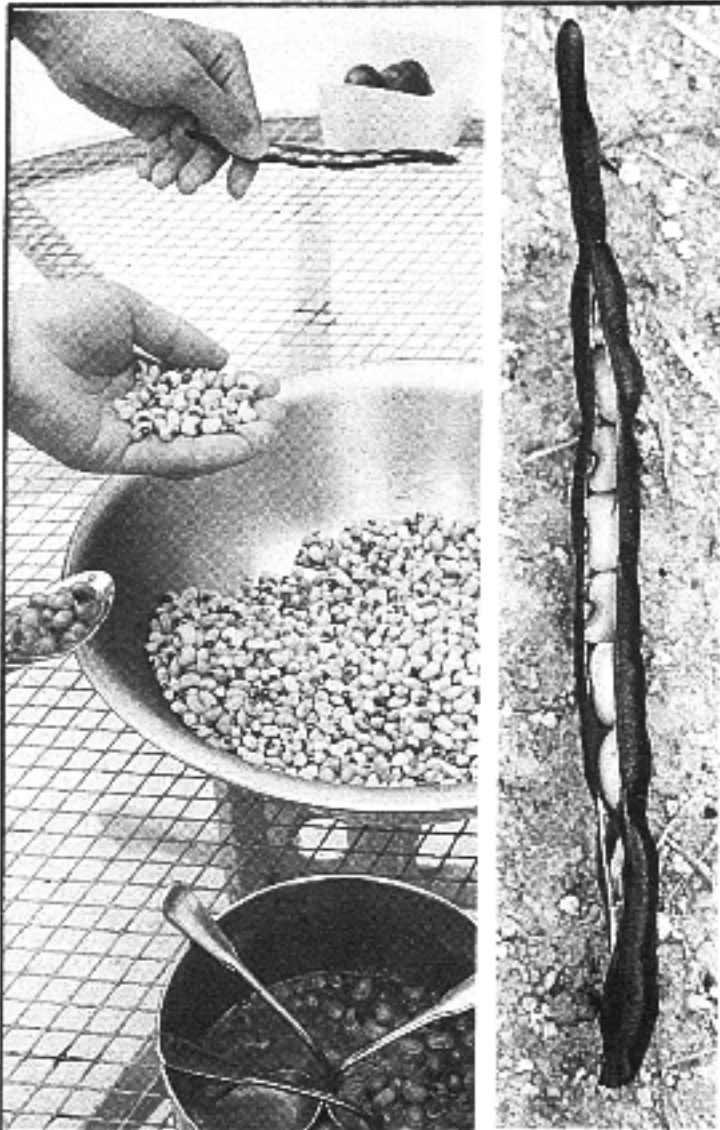


ねっ。ぼくがたくさんいるだろう。
ぼくって 人気者なんだよ。



しりょう2を読んでみましょう。





23

ウォル・コーツ小学校のこんだて表を見て
どんな豆が食べられているのか さがしてごらん
よ。豆は Peas や Beans だから かんたんさ。



26

いりょう3を見て豆をさがそう。27

LUNCH MENU NOVEMBER 1993				
MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
1. Peas 2. Chicken & Potato 3. Corn 4. Potato 5. Peas 6. Peas 7. Peas 8. Peas 9. Peas 10. Peas	1. Peas 2. Chicken & Potato 3. Corn 4. Potato 5. Peas 6. Peas 7. Peas 8. Peas 9. Peas 10. Peas	1. Peas 2. Chicken & Potato 3. Corn 4. Potato 5. Peas 6. Peas 7. Peas 8. Peas 9. Peas 10. Peas	1. Peas 2. Chicken & Potato 3. Corn 4. Potato 5. Peas 6. Peas 7. Peas 8. Peas 9. Peas 10. Peas	1. Peas 2. Chicken & Potato 3. Corn 4. Potato 5. Peas 6. Peas 7. Peas 8. Peas 9. Peas 10. Peas

コンメスープと コショウでにて食
でると とても おいしいんだよ。

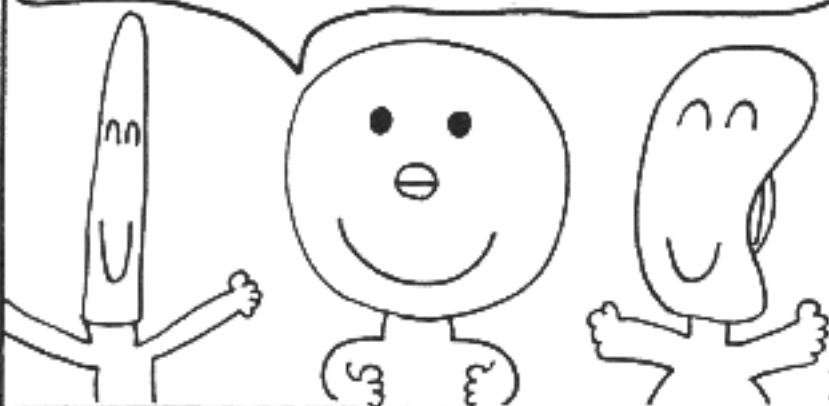


24

小学校の給食でも ぼくたち豆は
人気者なんだ。



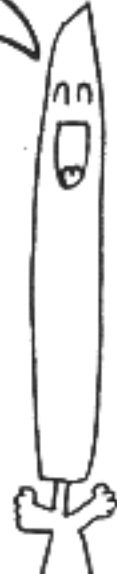
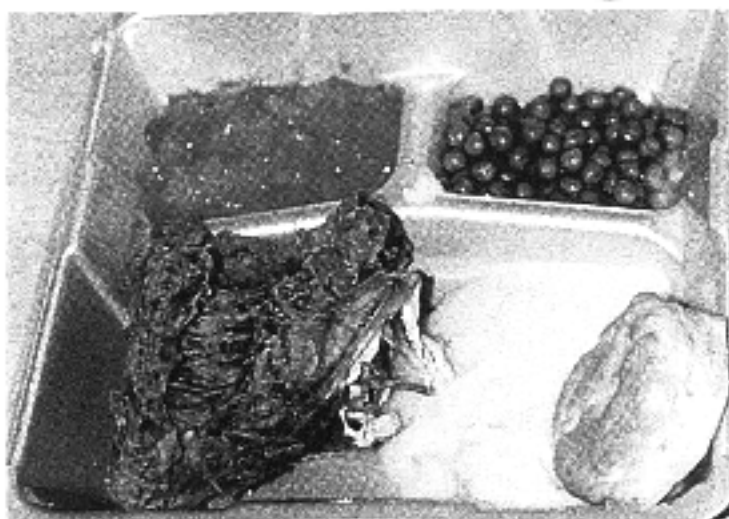
なるほど。
グリーンビルの人って 豆とながよしなんだね。



28

グリーンピース さんだよ。

25



次の日。
太ちゃん ミネアポリスに向かいました。

ミネアポリスでも 豆さがしをしてみよう。



グリーンビルのみな
さん。ありがとう。



29



30

さあ 豆さがしをしよう。
ミネアポリスのやさいの 朝市だよ。



まっま 豆 みつけた!



31



ぼくのながまがたくさんいるぞ!



32

ガーデンパーティだよ。



またまた 豆の料理 だよ!



33

グリーンビルみなさん。
ミネアポリスにも ぼくたち豆の
ながまが たくさん いますよ。



34

よく見つけたね。
ライマ豆をベーコンといっしょに した
料理だよ。とても おいしいぞ。



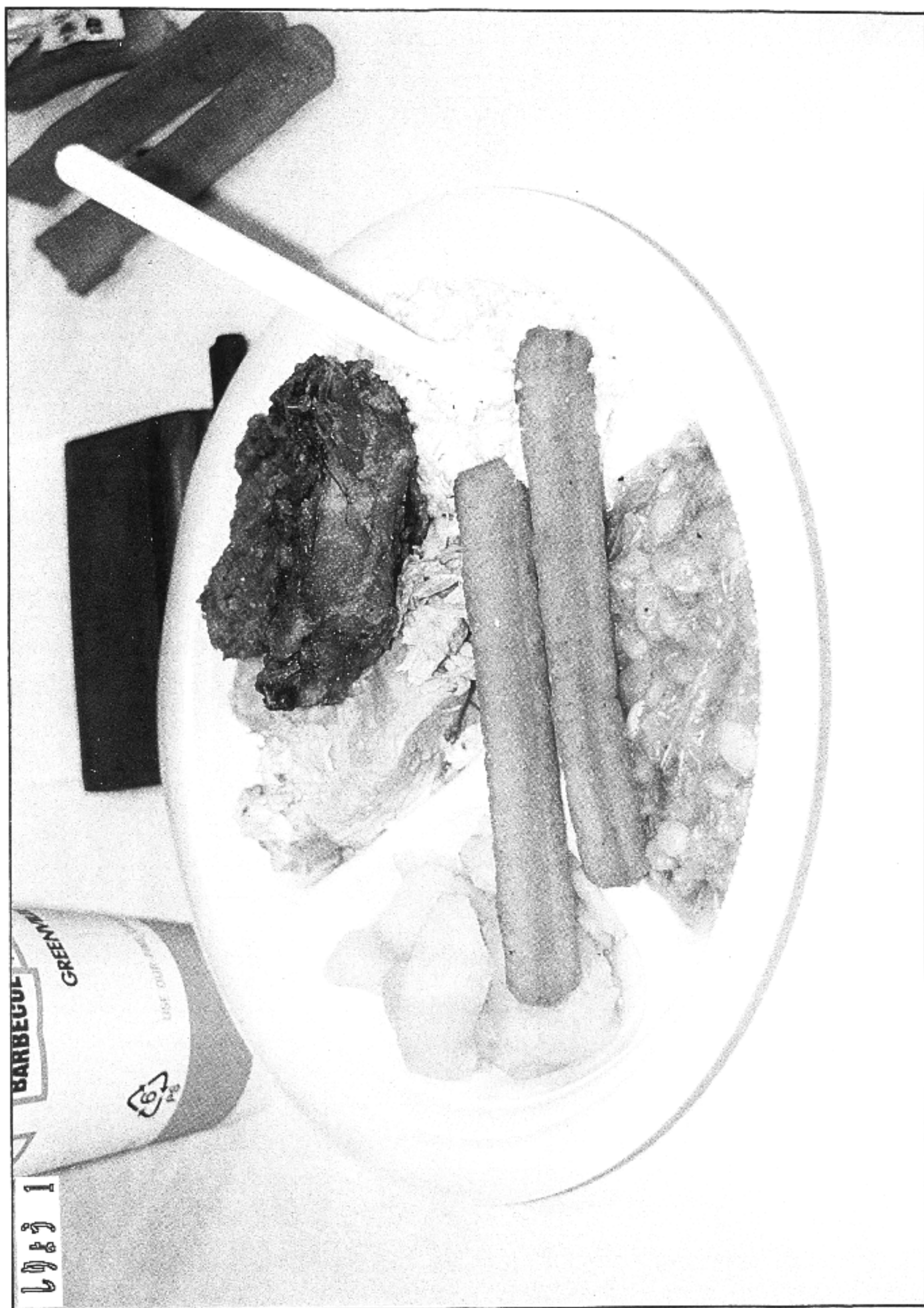
次の日。
大ちゃん は 日本 に ぐえります。
「大豆の大ちゃん まめ旅行」も おしまいです。

35

アメリカに ながまがいっぱい
楽しいな。大旅行になったなあ。



おしまい



弱冠12才の農業少年

(ウエンディ・スミス) 本誌記者

-----毎日6:00から6:30の間に起きて働くんだ。面白いよ-----

働くことが12才の少年の夏一番の関心事だとは、誰も思いもよらないだろう。しかし、ジョーイ・ホワイトハースト君の場合は働くことが毎日の日課となっている。

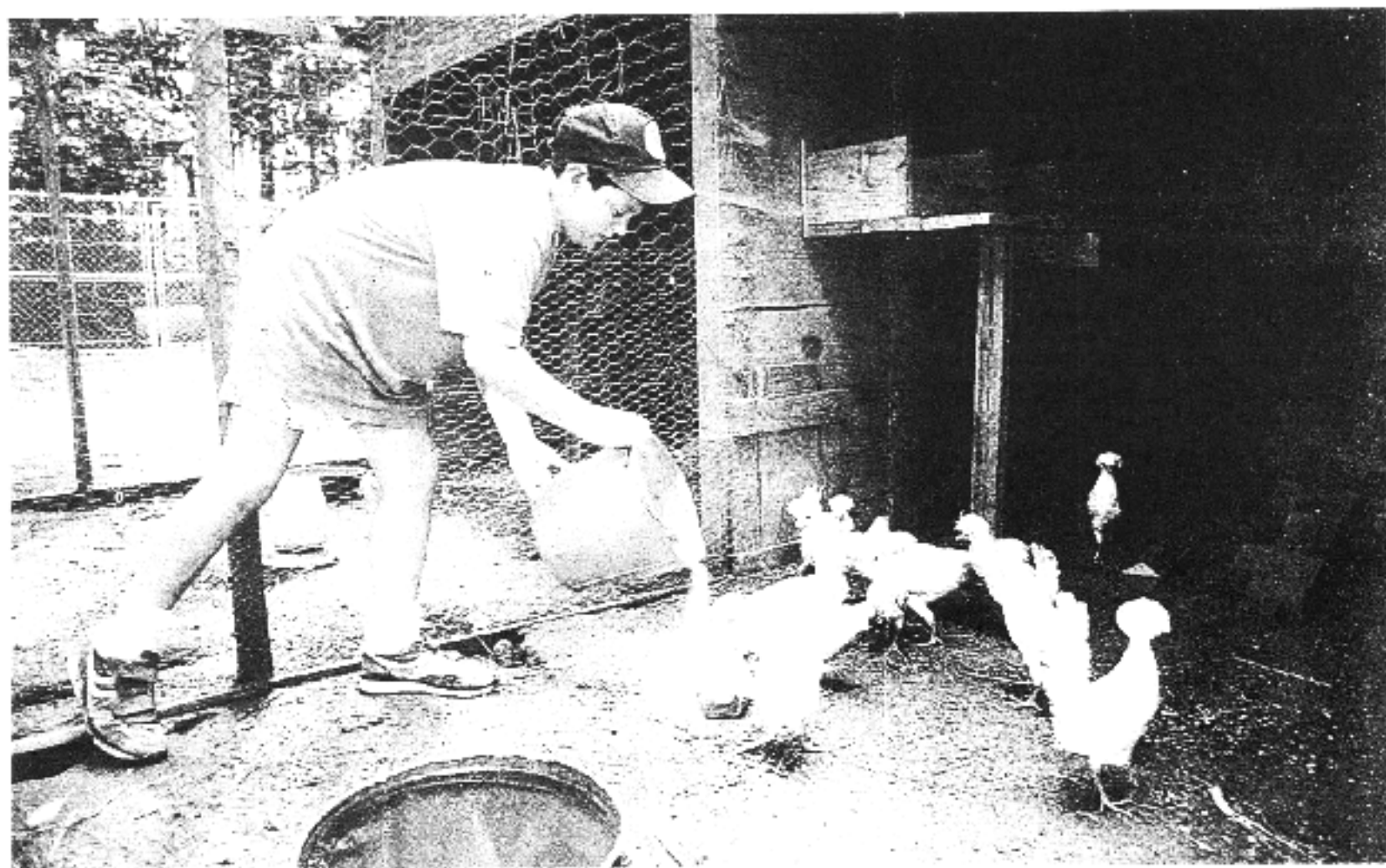
グリーンビル・クリスチャンアカデミーの7年生になるジョーイ・ホワイトハースト君は毎日、ニワトリ、猟犬、庭の世話を一人で行っている。「毎日6:00から6:30の間に起きて働くんだ。面白いよ」とジョーイは語る。

ジョーイ君は今年から畑の仕事を始めた。4月のある日2時間もかけて植え付けの準備をし、5月の半ば頃にはもう野菜が取れるようになった。庭にはスクワッシュ・オクラ・キュウリ・西洋大根・ニンジン・玉ねぎを植えている。こういう野菜を植える理由は成長が早いからだという。百日草・キンギョソウ・ヒマワリ・コスモスなどの花も植えている。花がよく売れているのを見て植える気になったらしい。

畑は15列で30分もあれば世話ができる。来年はエンドウ豆・ブロッコリ・トマトなども植えるつもりだそう。週に4回野菜と花をピット郡のファーマーズ・マーケットにもって行って売っている。良く売れるそうである。野菜・花だけでなくお母さんが育てたものも一緒にファーマーズ・マーケットにもって行っている。先週はお母さんの作ったオクラ・キュウリ・ナス・モモ・トマトなどをもって行った。ジョーイ君はオクラとスクワッシュが一番よく売れると話してくれた。もうけたお金はためるだけでなく、ニワトリや猟犬の餌も買わなくてはならないそうだ。「5才のときから飼っているけど、タマゴを生むから楽しい」と語る。

5才のときからやっている釣りや猟も楽しいと話す。「釣りは近くの池でやっているし、猟は9才から始んだ。今6匹の猟犬と普通の犬を3匹飼っているけど、猟犬は太らせたら駄目だというのが多きな飼い方の違いさ。」

農業以外にもすることは一杯あってこの秋にはバスケットをやるつもりだという。「今まで農業をやって来たのだからずっと続けるよ。だって楽しいもの。」



LUNCH MENU NOVEMBER 1993

PARENTS MAY PRE-PAY FOR STUDENT LUNCHES BY THE WEEK OR MONTH

市場の中の外国

～食の異文化理解～

日本でブラジルを見つけた！



＜店内のブラジルの新聞と酒類＞



ブラジル産の野菜



＜ブラジルの商品を売る松本さん＞

アメリカでアジアを見つけた！



ファーマーズ・マーケットで野菜を売るモン族の人達



＜コー夫人とその家族＞

コーさん一家は1976年にラオスからやって来ました。10アールの農地に野菜を植えているそうです。ご主人は元兵隊で戦争終結後アメリカ政府の援助でこのミネソタにやって来ました。通常は地元の小学校で英語とモン族の言葉の通訳のような仕事をしているそうです。子供達は学校の勉強も頑張りながら、お休みの日には商売の手伝いをやっているそうです。



総社市における外国人登録の年度比較

国籍	1989	1990	1991	1992	1993
ブラジル	0	13	241	472	625
ペルー	0	0	4	18	50
フィリピン	13	14	16	18	20
タイ	0	0	13	91	13
マレーシア	0	1	0	0	0
インドネシア	0	0	3	3	13
中国	3	2	3	5	14
カナダ	2	1	3	0	2
アメリカ	4	3	3	6	6
韓国・朝鮮	95	89	85	81	88
他	3	2	4	2	4
計	118	124	372	696	833

左の表から過去6年間に総社市への外国人の流入が急速に
あつたことがわかります。特に、1991年から1992年にか
けてブラジル・ペルーの人達が大幅に増大しています。こ
れは総社市にある水島機械金属工業という会社がブラジ
ル・ペルーの人達の雇用をすすめているからです。このよ
うに多くの人達が住み始めるとブラジル・ペルーの食物を
供給する店ができてきます。すでに総社市内でも幾つかの
店がビデオ・新聞・お酒を含めて様々なブラジル・ペルーの
品物を輸入し販売しています。

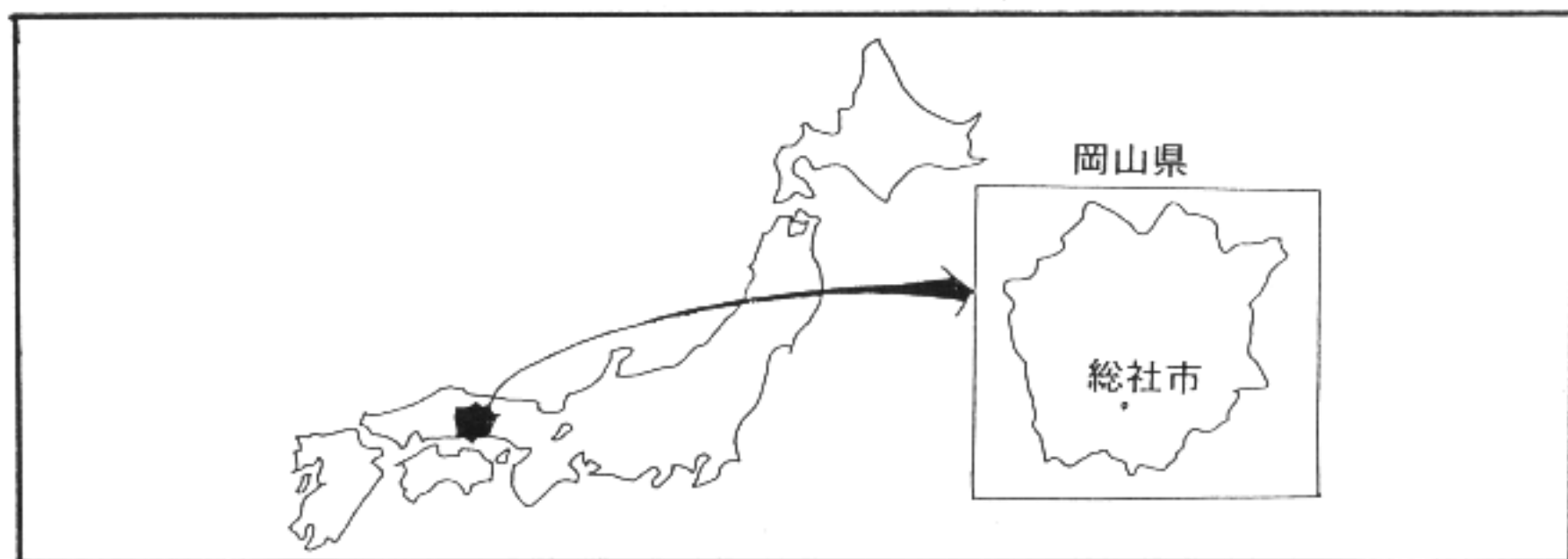
市内の松本商店ではブラジル・ペルーからのビデオ・新
聞・お酒・野菜・缶詰・調味料などを販売しています。毎日
たくさんの人達が故郷の食物を求めてやって来るそうです。
大人たちと一緒に子供達もやって来ています。1992年度
には18名、1993年度には21名、そして1994年度には25名
の小中学生達が市内の公立学校で学んでいます。まだまだ
私達日本人との交流は進んでいませんが、少しずつ地域に
定着し始めています。



ブラジルの料理



松本さんが作るブラジルのパンケーキ



1980年から1990年までのミネソタ州のアジア系アメリカ人の人口増はおよそ200%でした。1990年の国勢調査によると現在ミネソタ州には76,952人のアジア系アメリカ人が住んでいます。1975年のベトナム戦争終結後東南アジアの国々からの難民が数多くアメリカに流入した結果だと思われます。右の表からわかるように、モン族の人々が最も多く流入しています。彼らはラオスの山岳民族でベトナム戦争当時はCIAと協力してラオスの共産主義勢力と戦っていました。戦後、他のアジア系の人々とともに主として教会関係者の努力でミネソタ州にやって来ました。現在ではカリフォルニア州について多くのモン族の人達が住んでいます。

上の写真は、ミネアポリス郊外にある、ファーマーズ・マーケット(青空市場)で撮ったものです。この青空市場にはおよそ300件の店がでており、毎週日曜日には延べ数千人の人が主として自家製の野菜、民族料理などを購入しています。お客は主としてアジア系の人達ですが、地元の白人の人達も多数買い物にやって来ています。

ミネソタ州におけるアジア諸国からの移民の構成 (1990年度)

民族	人口	構成比率
モン	16,833	21.6
朝鮮	11,576	14.8
ベトナム	9,387	12.0
中国	8,980	11.5
インド	8,234	10.6
ラオス	6,381	8.0
フィリピン	4,267	5.4
カンボジア	3,858	4.9
日本	3,581	4.6
タイ	576	0.7
ハワイ	383	0.5



＜市場で売っている春巻・素麺・チャーハン＞

